

## 幕張新都心まちづくり将来構想(案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	頁	項目名	意見の概要	修正	市の考え方
1	2	将来構 想策定 の趣旨	1989年9月幕張メッセの開業から始まり、30年以上が経過した。現在も最終段階の建設が続いているが、やっと新都心全体の姿が見えてきた。これから、幕張新都心はハードからソフトへ移行していくと思われるが、この幕張新都心の精神ともいうべき、職・住・学・遊の複合と未来型国際業務都市という、コンセプトを大切に今後も幕張新都心の運営を行って欲しい。	-	これまで幕張新都心らしさを構成してきた「職・住・学・遊」に関する4つのまちづくりの方向性を、「連携」に関する3つのまちづくりの方向性が下支えることで、相乗効果を生み、幕張新都心のありたい姿の実現を目指してまいります。
2	2	将来構 想策定 の趣旨	幕張新都心について、赤字で「千葉県・東京圏の拠点」とあるが、東京圏の中に千葉県は含まれるのと、成田からの訪問者を意識して「東京圏・訪日の拠点」にしてはどうか。	-	P2における「拠点」とは、「千葉業務核都市基本構想」等のこれまでの幕張新都心の成り立ちを踏まえたものであることから、原文のままとさせていただきます。
3	2	将来構 想策定 の趣旨	「今後とも発展していくまちであり続ける」と表現しているため、千葉市・千葉県で力を入れているSDGsの活動と結びつけると理解が深まると思う。	-	将来構想では、まちづくりの方向性として「誰もが幕張新都心で安心して暮らせるまちをつくる」(P37)を掲げております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
4	2	将来構 想策定 の趣旨	策定の趣旨の中に旧千葉県企業庁の収束に伴い、千葉市が主体的に取り組むと書かれているが、時期は決まっているのか？この将来構想は千葉市が取り組むと考えていいのか？	-	将来構想の役割として「多様な関係者とみんなで将来構想を共有し、各主体が積極的に取り組むとともに、連携・協働の好循環により取組みを推進」(P3)することなどを、掲げております。 旧千葉県企業庁の土地造成整備事業は、2013年3月に収束しており、これからは、市や県の行政を含む多様な関係者による幕張新都心のまちづくりを進めてまいります。
5	3	将来構 想につ いて	千葉県（現企業局）が、幕張新都心各地区で策定したマスタープランやデザインガイドラインと将来構想とはどのような関係性なのか。令和5年春に京葉線新駅（幕張豊砂駅）が開業するが、この将来構想は、千葉県が策定した拡大地区（豊砂地区及び習志野市芝園地区）のうち、豊砂地区のマスタープランやデザインガイドラインを包括した新たな計画を千葉市が策定するための基本方針との理解でよいのか。	-	幕張新都心は、これまで千葉県により策定された各種プランやガイドライン等により、築き上げられたまちであると認識しています。 ご指摘のありましたプランやガイドライン等は、今なお有効なものと認識しており、これらの取扱いも含め引き続き千葉県と連携してまちづくりに取り組んでまいります。
6	3	将来構 想につ いて	千葉市では、幕張新都心各地区で地区計画を策定し、千葉市景観条例に基づき、景観形成推進地区を中央地区、若葉住宅地区と指定し、現在は住宅地区（幕張ベイタウン地区）の指定及び景観形成基準の施行に向けて準備をしていると理解しているが、この将来構想と千葉市の地区計画及び景観形成推進地区（景観形成基準）等他法令とはどのような関係性なのか。	-	将来構想は、分野横断的な指針として各部門が策定している個別部門計画と整合を図ることとしています。地区計画や景観形成推進地区といった具体的な取組みについても、同様に将来構想と整合を図っていきます。

7	3	将来構 想につ いて	基本構想に記載されている「市政運営の指針として、・・・恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標及び望ましい都市の姿」の基本理念・基本目標及び望ましい都市の姿とは何かを追記してほしい。具体的には「千葉市新基本計画」に記載されている下記内容だと思う。 基本理念：人間尊重・市民生活優先 基本目標：人とまち いきいきと幸せに輝く都市 望ましい都市の姿：① 自然を身近に感じるまち ② 健やかに安心して暮らせるまち ③ 安全で快適なまち ④ 豊かな創造力をはぐくむまち ⑤ はつらつとした活力のあるまち ⑥ 共に築いていくまち	-	P3については、千葉市総合計画や個別部門計画との関係性をはじめとする将来構想の位置付けを示しております。 そのため、「基本理念」「基本目標」「望ましい都市の姿」の内容については記載を省略していることから、原文のままとさせていただきます。
8	3	将来構 想につ いて	「多様な関係者による幕張新都心のまちづくり」の円の中に「活動団体」「研究機関」を含めてほしい。	○	「活動団体」「研究機関」も幕張新都心におけるまちづくりの重要な担い手であることから、いただいたご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。 【修正（追記）】（P3） 「教育・研究機関」「団体」
9	3	将来構 想につ いて	幕張新都心は県が「覇権」を持っている。県と共同でやらないと無意味である。IR構想の二の舞いである。	-	幕張新都心のまちづくりにおいて、千葉県との連携は必要不可欠であると認識していることから、P3に例示しています多様な関係者によるまちづくりには千葉県も含まれています。
10	3・9	その他	本構想（案）の年代表示は暦年を主として記載しているが、P.3の基本計画、実施計画の計画期間は、年号表記である。暦年での並列表記をしてほしい。P9のような年表表記の場合、関連資料が暦年表示の年表の何処にその資料が位置するのかすくに見極められないため、「平成26年（2014）経済センサスベース」のような表記にしてほしい。施策（関連資料）とその効果（就業者数・事業所数）の相関を見る上で重要である。	○	いただいたご意見を踏まえ、暦年を基本とし、年号を用いる場合は暦年と併記することで表記を統一しました。
11	4	将来構 想対象 範囲	幕張総合高校隣の、新病院建設の表記がない。	-	P4は、2022年現在の土地利用計画図を掲載しており、新病院についてはまだ建設されていないことから、表示しておりません。なお、新病院については、取組イメージとして「市民が必要とする医療を切れ目なく提供し、大規模災害時も機能を維持できる施設・設備を備えた新病院と医療機関等との連携体制の構築」（P37）などを、例示しております。
12	4	将来構 想対象 範囲	マリスタジアムの移転があるのか。（メッセ駐車場予定、ドーム化、メッセ本来からの眺め）	-	ZOZOマリスタジアムについては、竣工から30年以上が経過し老朽化が進んでいることから、幕張新都心におけるまちづくりの視点も踏まえたスタジアムのあり方について総合的に検討し、新スタジアムの建設又は現スタジアムの改修についての方向等を明らかにしていくための基礎調査に着手したところであり、今後、まちづくりの中核を担う交流拠点となるよう、幅広く検討していきたいと考えております。
13	4	将来構 想対象 範囲	対象範囲には拡大地区北側も含まれるのではないかと。（運転免許センター、石油開発技術センターなど）	-	拡大地区の北側に隣接するエリアのみならず、周辺地域の動向は、幕張新都心のまちづくりに影響を生じる可能性があるため、今後とも動向に注視してまいります。
14	4	将来構 想対象 範囲	対象範囲が青で示されているが、海のあたりが曖昧である。人工海浜から延びる突堤は含まれるのか、含まれるのであれば、もう少し沖まで青の線をつけてほしい。	○	いただいたご意見を踏まえ、対象範囲を修正しました。（P4）

15	8	現状分析	日々活動人口は、2010年から2015年にかけて大きく増加したが、2015年から2020年の増加は少ない。居住者数は2005年から2010年にかけて大きく増加したが、2015年から2020年の増加は少ない。来訪者数は、2010年から2015年にかけて大きく増加したが、2015年から2020年には微減している。これらの要因を分析して記述すべきである。	-	日々活動人口は割合の大きな来訪者数に大きく影響されること、居住者数はディベロッパー等による住宅供給ペースに影響されること、来訪者数は大型商業施設の開業等に影響されることなど、それぞれの数値ごとに変動の要因はありますが掲載する情報量に限りもありますので原文のままとさせていただきます。
16	8~12	現状分析	本構想(案)は、現在の「正」の状態だけを力説しているが、「負」の現状も記載すべきである。	-	「3.現状分析：その他」(P13~15)や「4.考慮すべき将来の変化」(P16~19)において、必要な範囲で課題や関連する事項について記載しております。将来構想では、将来に向け、主に現在のまちの状態に着目して分析を行っていることから、原文のままとさせていただきます。
17	9	現状分析	情報通信業とは、どのような分野に関わる企業なのか、分からない。Web系、アプリ系、ゲーム系、制御系、AI系など、どこに特化しているのか。情報通信業は在宅勤務が多いと思われるが、空室率が高くなっていくのか。	-	経済センサスの産業分類において、情報通信業とは、情報の伝達を行う事業所、情報の処理、提供などのサービスを行う事業所、インターネットに付随したサービスを提供する事業所及び伝達することを目的として情報の加工を行う事業所が分類されております。情報通信業と在宅勤務の関連性、および空室率については、今後の動向を注視してまいります。
18	9	現状分析	テクノガーデン等オフィス街も当初の勢いがなく、当初入居していた企業で離れた企業も多い。現状分析の中で、何が原因であったのか負の要素も分析する必要があるのではないかと？	-	企業の撤退等については、バブル崩壊等の社会経済状況や各企業の個別事情によるものと認識しておりますが、「3.現状分析」(P8~15)においては、必要な範囲で課題や関連する事項について記載していることから、原文のままとさせていただきます。引き続き幕張新都心における企業立地の動向を注視し、いただいたご意見を参考にしながら、産業活動拠点として成長していくことを目指し、今後の取組みについて検討を進めてまいります。
19	9	現状分析	「職」において「国内外を代表する企業のオフィスビルが立地し、…」とあるが、BMW、東京海上、NTTなどの企業は自社ビルを売却、幕張での事業を縮小や撤退をしているという事実が記載されていない。なぜそういったことになったのかという分析がないと、幕張新都心の「職」の課題が明確にならないと考える。	-	「3.現状分析」(P8~15)においては、必要な範囲で課題や関連する事項について記載していることから、原文のままとさせていただきます。なお、企業の撤退等については、バブル崩壊等の社会経済状況や各企業の個別事情によるものと認識しております。引き続き幕張新都心における企業立地の動向を注視し、いただいたご意見を参考にしながら、産業活動拠点として成長していくことを目指し、今後の取組みについて検討を進めてまいります。
20	9	現状分析	「職」における「全従業者に占める業種別比率」や「美浜区を従業地とする人数と常住地比率」など、他の旧業務核都市や新都心、副都心、たとえばさいたま新都心との比較などを行うことで、より幕張新都心の現状や特徴を浮き彫りにできるのではないかと考える。	-	「職」における「全従業者に占める業種別比率」や「美浜区を従業地とする人数と常住地比率」など、他の旧業務核都市や新都心、副都心、との比較など、様々な角度からの分析手法があると認識しておりますが、「3.現状分析」(P8~15)においては、必要な範囲で課題や関連する事項について記載していることから、原文のままとさせていただきます。
21	10	現状分析	病院数・病床数の推移を追記してほしい。「千葉市新基本計画」における「望ましい都市の姿②の健やかに安心して暮らせるまち」のためにも追記が必要であると思う。	-	「病院・病床数」などの医療に関する要素についても、教育や福祉などと同様に、人が暮らす上で重要な要素であると認識しております。しかしながら、「現状分析：住」(P10)においては、全てのベースとなる人口に着目して分析を行っていることから、原文のままとさせていただきます。

22	10	現状分析	「住」に関しては、特に「若葉住宅地区」は当初の計画とは全く違った用途となっている事実が記載されていない。旧企業庁が従前の土地利用計画での事業推進が困難と判断し、土地の処分を急ぐ必要があったことから、結果としてこのようになっているのではないか。事実は今後のことを考えていく上で重要な判断材料となる。しっかりと記載すべきではないか。	-	若葉住宅地区については、平成20年4月に当時の千葉県企業庁において「幕張新都心文教地区未利用地マスタープラン」が策定され、居住機能等を新たに導入する土地利用となりました。その後、平成26年7月のマスタープラン改訂を経て、計画人口約10,000人の新たなまちづくりが進行しております。 いただいたご意見のとおり、過去の土地利用計画の変遷は、将来のまちづくりを考えていくうえで重要な情報であると認識しておりますが、「3.現状分析」(P8~15)においては、必要な範囲で課題や関連する事項について記載していることから、現状の土地利用計画に基づいた内容を記載しており、原文のままとさせていただきます。
23	11	現状分析	幕張新都心は、他の新都心・副都心に比べて、小中学校の校数・在学者数が非常に多いことが示されている。P10「関連するご意見」にもあるように、この姿勢は都市経営にとって非常に良好な現状だと思う。幕張新都心は、他にはない、単なるベッドタウンではないという特色を強調すべきと思う。さらに、保育施設等(幼稚園含む)の現状も記載した方がよい。	-	教育機関の立地数・在学者数が多いことは、文教地区と住宅地区を抱える幕張新都心の特徴の一つです。また、単なるベッドタウンではないという特色については、「現状分析：職」(P9)、「現状分析：住」(P10)において、「美浜区を従業地とする人数と常住地比率」や「各種活動人口の変化(他都市との比較)」などを掲載しています。 なお、「現状分析：学」(P11)は、文教地区を中心とする「学」の機能に対する主な現状分析を記載していることから、原文のままとさせていただきます。
24	11	現状分析	企業との産学連携については、情報通信業が多いことから文化系大学よりも、千葉大の工学部や、市を跨いだ地区の千葉工大との連携などもあるのではないか。	-	いただいたご意見のとおり、産学連携については、幕張新都心内の大学等のみならず、千葉市内他地区および市外の大学との連携も視野に入れていきます。
25	11	現状分析	新都心・副都心における2021年時点教育機関立地と在学者数の表について、幕張新都心の小学校が3となっているが、4ではないか。幕張インターナショナルスクールは7ページに記載があるように一条校なので、打瀬の3つの小学校+1と考えられないか。	○	ご指摘のとおり、幕張インターナショナルスクールは学校教育法第一条に即していることから、「新都心・副都心における2021年時点教育機関と在学者数」を以下のとおり同学校を含む数値に修正しました。 【修正】(P11) 小学校 校数：4、 在学者数：2,139人
26	11	現状分析	都内では、幼稚園から高校までが同じビルに入っているような一貫体制の教育施設ができていたりしている。今までにない教育施設や、ロボットやAIのように最先端技術を扱う最先端の学校の誘致が必要。	-	将来構想では、まちづくりの方向性として「多様な活動主体が刺激的で先端的な学びを得られる環境を創出する」(P33)を掲げております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。

27	11	現状分析	「学」については、「他の新都心・副都心と比較しても教育機関立地数・在学者数が多い」とあるが、その理由の分析が必要ではないかと考える。業務系が立地しても成り立たない地域であるが故に、結果として教育機関が進出することで穴埋めしているということではないか。	-	進学率の上昇・学生数の増加という社会背景に対応するため、1976年「学園のまち構想」により、幕張新都心に教育文化機能を充実させることが示されました。1981年以降に文化・教育施設が順次立地し現在の「学」の姿へと成長を遂げました。 幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能の集積が進み、未来型の国際業務都市の形成を目指して発展してきました。今後も持続的に成長を遂げていくためには、この幕張新都心らしさを高めていくことが重要であり、将来構想では、まちづくりの方向性として「職・住・学・遊」それぞれの機能を高めていくことを掲げております。
28	11	現状分析	OVTAが撤退していることは記述されていない。また、アジア経済研究所では、海外の研究者との交流はなされているが、当然のことであり、この程度のことを取って「国際交流の場となっている。」と記述するには、少々手前味噌と言えないか。	○	「国際交流の場」となっているのは、ジェトロ・アジア経済研究所等の研修・研究施設だけでなく、神田外語大学をはじめとする教育機関も含む文教地区全体とすべきであることから、いただいたご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。 【修正】(P11) 教育機関に加えて7つの研修・研究施設等が集積しており、多様な人材育成の場、国際交流の場となっています
29	12	現状分析	「遊」については、ZOZOマリンスタジアムや幕張メッセという一連の施設群は、「幕張新都心まちづくり」の重要な機能を果たしてきたと認識されているものと考えが、できてから既に30年以上が経過し、施設の老朽化や陳腐化など、ハード面での状況把握（データ分析）はできているのか？	-	ZOZOマリンスタジアムについては、本市においてこれまで計画的な改修を行って来ていますが、竣工から30年以上が経過していることから、新スタジアムの建設又は現スタジアムの改修についての方向等を明らかにしていくための基礎調査に着手したところです。 また、幕張メッセについては、千葉県において平成28年度から令和12年度までの15年間の計画的な大規模改修が行われています。
30	12	現状分析	幕張メッセは開設当初「国内最大級のコンベンション施設」を標榜していたが、2019年の開催実績からは、催しのうち「イベント・音楽イベント」が半数以上となっている。開設当初や、開設から10年時点、20年時点などでの開催実績との比較や、類似施設（たとえば、東京ビッグサイト）との比較を行うことで、現在の幕張メッセの強みや弱み、立ち位置が見えてくる可能性もあるが、そういったことは資料からは読み取れない。試みてはいかがか？	-	幕張メッセは、引き続き幕張新都心における中核施設であり、まちづくりに大きく影響を与える施設と認識しております。 将来構想では、取組方針に「これからの時代にも対応した、新たなMICEのあり方を提示する」(P31) などとしております。新たな付加価値を生み出していくことを検討していくとしており、いただいたご意見については、今後の取組みを検討する際の参考にさせていただきます。
31	13	現状分析	総武線(幕張駅)と京葉線の交通網脆弱さ(バスや徒歩)がある。車の移動は拡大地区前の慢性的渋滞の解消する対策が必要とされる。幕張豊砂駅ができて、家族連れや多量買いの人が多いことで車で利用は減少するのか。今以上の移動人数を増やすとキャバを超える可能性があると思う。	-	幕張豊砂駅については、幕張新都心の都市機能の強化や交通機能の分散化を図るため整備を推進してきたところです。駅の開業によって一定程度の方が既存の移動手段(海浜幕張からバス利用、マイカー利用等)から転換するものと見込んでおり、今後は駅開業後の利用状況を注視してまいります。また、拡大地区の渋滞についても、駅開業後の状況を注視しながら、対応を検討してまいります。

32	13	現状分析	「その他」の中で「現行の域外からのアクセス」について記述されているが、幕張メッセの弱点として東京からのアクセスの悪さが言われているかと思う。りんかい線から京葉線への直接乗り入れの実現に向けて行政が努力しているにもかかわらず、成果が出ていないという現状も課題であるので、明記すべき事項と考える。	○	<p>いただいたご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。なお、取組方針「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」(P37)の取組イメージにおいて「新たな湾岸道路や鉄道等によるアクセス性の向上」などを、記載しております。</p> <p>【修正】(P13)</p> <p>JR京葉線、東関東自動車道などのインフラ整備により、幕張新都心の域外からのアクセスは改善してきたものの、更なる利便性の向上が望まれています</p>
33	15	現状分析	「海浜幕張駅周辺の帰宅困難者用一時滞在施設」の表においては、指定年月日よりも、収容人数を表記すべき。また、海浜幕張駅周辺施設とは何を指すのか？	-	<p>「P15・現状分析：その他」においては、幕張新都心における防災面の連携・取組みの現状を示す内容としており、一時滞在施設の受入れ可能人数（収容人数）等の施設の詳細情報の表記は馴染まないことから、原文のままとさせていただきます。</p> <p>なお、「海浜幕張駅周辺施設」とは、災害時に一時滞在施設としてご協力をいただく民間施設です。</p>
34	15	現状分析	地震、高潮のハザードマップが示されていますが、対策については冒頭の困みの中で、「今後も取組みを進展させる必要がある」と記載されているだけである。対策の現状を簡単に記載すべき。「千葉市新基本計画」における望ましい都市の姿③の安全で快適なまちのためにも追記が必要と思う。	-	<p>防災対策の現状については、「現状分析：その他」(P15)において「幕張新都心における防災面の連携」として、民間企業等による連携協定や帰宅困難者用一時滞在施設を掲載しております。なお、防災に関する対策の現状については、下記の各個別部門計画が策定されています。</p> <p>【千葉市地域防災計画】</p> <p><a href="https://www.city.chiba.jp/somu/kikikanri/kikikanri/documents/01kyoutuhenr03.pdf">https://www.city.chiba.jp/somu/kikikanri/kikikanri/documents/01kyoutuhenr03.pdf</a></p>
35	15	現状分析	高潮浸水深について、県の想定マップを反映させてほしい。沿岸なので1m程度では済まないのではないか。	-	<p>千葉市地震・風水害ハザードマップの高潮（浸水深（想定最大規模））(P15)については、千葉県のデータ（平成30年11月13日）を基に作成していることから、原文のままとさせていただきます。</p>
36	15	現状分析	インフラの老朽化・更新の話題がほとんど出ていない。メッセ、ホテル、オフィスビル、球場等を今後どのように更新していくかが課題。	-	<p>幕張新都心はまちびらきから30年以上が経過しており、インフラ施設の更新時期を迎えていくことが見込まれます。そのため、将来構想では、持続可能な都市経営に向け、まちづくりの方向性として「誰もが幕張新都心で安心して暮らせるまちをつくる」(P37)を掲げ、取組方針に「デジタル技術を活用した高度なインフラの維持・管理と、テクノロジーの進展を見据えた都市基盤づくり」(P37)などとしております。</p> <p>なお、現在、ZOZOマリンスタジアムについては、新スタジアムの建設又は現スタジアムの改修についての方向等を明らかにしていくための基礎調査に着手したところであり、幕張メッセについては、千葉県が令和12年度まで15年間をかけて計画的な大規模改修を行っています。今後とも多様な関係者の皆様と連携を図りながら、いただいたご意見を参考に、まちづくりを進めてまいります。</p>
37	16~19	考慮すべき将来の変化	青字で表示している【都市のマネジメント／安全・安心に関する変化】において、記載されているのは維持管理ばかりで、災害については「懸念」で終わっている。人は、安全・安心に確信を持ってないと、その都市には居住しなくなる。	-	<p>「安全・安心」については、まちづくりにおいて重要であると認識しており、「現状分析：その他」(P15)及び「4.考慮すべき将来の変化」(P19)に記載した上で、取組方針に「多様な関係者の連携による安心・安全な基盤づくり」(P37)としております。</p>

38	16~19	考慮すべき将来の変化	新型コロナウイルス感染症は働き方に大きな変化をもたらし、テレワーク・リモートを生み出した。これにより、企業は大きなオフィスが不要となり、オフィスビルは解体される可能性がある。また、リモートやオンライン配信により、大きなコンベンションセンターや高層ホテルは不要となり、それらは解体される可能性がある。P15に老朽化に伴う施設の更新について言及されているが、時代の変化を見込んで計画することが肝要である。	-	将来構想では、取組方針に「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」(P37) とするとともに、取組イメージとして「多様な主体が保有する施設等の適切な維持・管理及び老朽化への対応」(P37)などを例示しております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
39	16~19	考慮すべき将来の変化	考慮すべき将来の変化1-4について、幕張新都心の記述はわずかで、一般的な話が書かれており、唐突な感じがする。もう少し、幕張新都心のデータを入れられないか。地域の変化についての現状分析が弱い印象になっている。	-	「4.考慮すべき将来の変化」においては、幕張新都心を取り巻く中長期的な外部環境変化を整理しており、必要な範囲で課題や関連する事項について記載していることから、原文のままとさせていただきます。 なお、地域の変化については、「3.現状分析」(P8~15)及び「5.幕張新都心への思い・声」(P20~P22)として記載していることから、原文のままとさせていただきます。
40	16~19	考慮すべき将来の変化	新たな競合施設(仮称)LaLa arena TOKYO-BAY(ららアリーナ東京ベイ)の開設など、幕張メッセを取り巻く環境の大きな変化も見えてきている。	-	幕張メッセを取り巻く環境の変化については、重要であると認識しているため、引き続き注視してまいります。
41	18	考慮すべき将来の変化	コロナ禍によりリモート就業が増え、出勤せずに原則リモート就業の企業もあるようだ。近い将来には、大規模なオフィスビルは不要となるかもしれない。その場合、幕張新都心のオフィスビルはどうなるのか、単純にマンションに変わるのか、注視が必要である。	-	ご意見のとおり、今後の活動する人やライフスタイルの多様化の進展などについて、注視する必要があると認識しております。
42	19	考慮すべき将来の変化	「財源減少等のなかで持続可能な都市経営が求められる」とあるが、維持できないほどの状態なのかどうかかわからない。他の自治体が羨むような街である幕張新都心に関する収入、経済効果や支出を示し、都市としての価値と投資価値を明確にすべきと考える。一般財政悪化による予算一律削減によって整備・清掃事業が中途半端になり、街の価値を下げたまま、歳入をさらに減らす、といった負のスパイラルに陥ってはならないと思う。	-	「4.考慮すべき将来の変化」(P19)を踏まえると、財源減少等が進むなか、従来の行政による維持管理が困難になることを見込まれますが、将来構想では、取組方針に「多様な世代・主体の協働による様々な活動を通じ、幕張新都心の地域文化をより豊かにする」(P36)及び「関係団体等の活動が連携・拡大し、一体となってまちづくりを進めることができる仕組み・運営体制をつくる」(P37)などとしております。関係者の皆様との連携・協働により街並みやまちの価値の維持・向上を目指してまいります。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
43	20	幕張新都心への思い・声	有識者の視点に、「デジタル技術・新技術に配慮したまちづくり」があり、近未来の職場は、この発想が必要かもしれない。『デジタル都市。住居から徒歩10分の共有スペースでのテレワーク』は、幕張新都心のキャッチフレーズになるかもしれない。	-	将来構想では、取組方針に「リモートワーク時代のなかで、幕張新都心の豊かな自然環境を感じながら、柔軟に働ける環境をつくる」(P31)としております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
44	23	幕張新都心が目指すべき姿	7つのまちづくりの方向性の詳細は、P29で紹介されている。この冊子を理解しやすくするには、順序を逆に必要がある。冊子の構成上難しいのであれば、「7つのまちづくりの方向性(P29参照)」のように、明示されているページが記載されると分かりやすい。	○	「幕張新都心が目指すべき姿」(P23)は、「まちづくりの理念」(P24)、「幕張新都心のありたい姿」(P25~28)、「まちづくりの方向性」(P29~37)の関係性を1ページで図示しており、目次的な役割を持っていることから、いただいたご意見を踏まえ、P23に参照ページを追記しました。

45	23	幕張新都心が目指すべき姿	「幕張新都心の歴史と発展の経緯を踏まえつつ、発展していくまちであり続けるため、このまちで活動する上で大切にすべき考え方を「まちづくりの理念」として示す」と記載されている。先ず、P3の基本構想に記載されている「都市づくりの基本理念」と「まちづくりの理念」との関連性について説明してほしい。そもそも（基本）理念が2つあると混同してしまう。また、歴史と発展の経緯を踏まえていると、激動する変化には対応できなくなってしまうと思う。	-	将来構想は、市域全体を対象とした上位計画である「基本構想」及び「千葉市基本計画」に即すとともに、施策の展開においては連携・整合を図ることとしております。そのため、「基本構想」における理念である、「人間尊重・市民生活優先」を踏まえたくうえで、将来構想では幕張新都心における「まちづくりの理念」を掲げております。これまでの発展の歴史と経緯の積み重ねが幕張新都心らしさであり魅力であると認識しております。
46	23	幕張新都心が目指すべき姿	P23の「幕張新都心のありたい姿」に、「まちづくりの理念に基づき、重要となる3つの要素を・・・」と記載されているが、その『まちづくりの理念』とは、P24に記載されている「未来を追い求めてチャレンジを繰り返し、ここにしかない新しさが生まれるまち」なのか？表記の順序が逆で非常に読みにくい。	○	「幕張新都心が目指すべき姿」（P23）は、「まちづくりの理念」（P24）、「幕張新都心のありたい姿」（P25～28）、「まちづくりの方向性」（P29～37）の関係性を1ページで図示しており、目次的な役割を持っていることから、ご意見を踏まえて、P23に参照ページを追記しました。
47	23	幕張新都心が目指すべき姿	「幕張新都心のありたい姿」として3つの要素を掲げている。このページ以前では、「新規性・先端性」が経済・産業、「多様性」が社会・環境及び生活・ライフスタイルであり、「都市経営」が都市のマネジメント、安全・安心であった。まとめ方が飛躍しすぎていて、かえって分かりにくくしている。P16にあるように、「経済・産業」、「社会・環境」、「生活ライフスタイル」、「都市マネジメント・安全・安心」の4つの要素を使用することを提案する。	-	「まちづくりの理念」（P24）に基づき、重要となる3つの要素を導き出したプロセスは、「重要となる3つの要素」（P25～27）に示しているのとおりとなりますので、3つの要素の構成のままとさせていただきます。
48	23～27	幕張新都心が目指すべき姿	先ず、理念とは何かの定義は難しいが、P24『まちづくりの理念』は理念ではないと思う。次に、『重要となる3つの要素』と『まちづくりの理念』の関連が理解できない。理念の「新しさ」と①新規性・先端性は繋がるが、②多様性、③都市経営とは繋がらない。『まちづくりの方向性』の構成要素「職・住・学・遊」は納得するが、連携に関する3つのまちづくりの方向性になると混乱が生じる。 この将来構想の表記、構成等から推察すると、先ず『まちづくりの方向性』があり、これらをまとめる重要要素（標語）は何がいいかを決め、最後に『まちづくりの理念』を創り上げたように思える。本来は全く逆である。	○	幕張新都心の歴史と発展の経緯を踏まえつつ、発展していくまちであり続けるため、このまちで活動する上で大切にすべき考え方を「まちづくりの理念」として設定し、「まちづくりの理念」を実現するための重要となる3つの要素を「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」として導出しています。いただいたご意見を踏まえ、わかりやすくするため、P23に参照ページを追記するとともに、P28の「重要となる3つの要素」に関する表現を修正しました。
49	24	幕張新都心が目指すべき姿	P24「まちづくりの理念」は、抽象的でわかりにくい表現である。人間尊重・市民生活優先が（基本）理念に適していると思う。	-	これまでの発展の歴史と経緯の積み重ねが幕張新都心らしさであり、魅力であると認識し「まちづくりの理念」（P24）を掲げております。この理念は千葉市の基本構想における理念である、「人間尊重・市民生活優先」を踏まえたくうえで、幕張新都心における、「まちづくりの理念」として掲げているため、原文のままとさせていただきます。
50	24	幕張新都心が目指すべき姿	図では「幕張新都心にしかない」とあるが、「まちづくりの理念」では、なぜ「ここにしかない」と指示詞なのか？また、「新しさが生まれる」について、チャレンジを繰り返して目指す新しさに到達しても、その時点では「新しさ」はもう「古く」になってしまう。比較でしかない言葉「新しさ」「古さ」は理念として相応しくないとと思う。	-	「まちづくりの理念」を、分かりやすくするために図にて示しています。そのため、図においては「ここにしかない」という言葉を、「幕張新都心にしかない」と丁寧に表示しています。また、ご指摘のとおり、その時代に「新しい」ものも、時間の経過とともに「古い」ものとなり、歴史となります。そのため、チャレンジを繰り返し、いつの時代にも「新しいものが生まれ続けるまち」としました。
51	24	幕張新都心が目指すべき姿	幕張新都心は常に時代の先端を目指し、チャレンジする都市であってほしい。幕張新都心にくくとワクワクするような、本当の意味で統合型リゾートを目指してほしいと思う。	-	「まちづくりの理念」（P24）のとおり、これまでの歴史と発展の経緯を踏まえつつ、チャレンジを繰り返し、幕張新都心にしかないワクワクするような新しさが生まれるまちであるよう、関係者の皆様とともにこれからのまちづくりに取り組んでまいります。



52	25	幕張新都心が目指すべき姿	千葉県柏地区の方が先端性(医療・ホテル)で最近、目立っている。幕張は何か、職・住・学・遊がそろっている。(オンラインでできないものと海や自然)。フクダ電子アリーナのスポーツ、音楽イベントなどでは千葉市内でも蘇我地区との関係の整理が必要ではないか。	-	「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市でありつつ、海と自然を備えているのが、幕張新都心の特徴であると認識しております。 いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
53	25	幕張新都心が目指すべき姿	一番下の欄、「新規性・先端性」であるが、内容を見ると、「新奇性・先端性」ではないか。新たなコト・モノを「開始する」ではなく「創出する」とのことなので(23・28ページなどの「新規性・先端性」も修正を検討してほしい)	-	「新奇」は、「目新しく、普通でないこと」、「新規」は、「今までとは違って、新しいこと」と、整理しております。そのため、将来構想の趣旨により、原文のままとさせていただきます。
54	27	幕張新都心が目指すべき姿	3つ目の要素から「安全・安心」の文字が消えてしまったのが非常に残念に思う。環境負荷、防災対策は「都市経営」の一丁目一番地である。防災対策は、ハードウェアだけでなく、ソフトウェアでも十分可能である。一都市での環境負荷対策は、むしろソフトウェア(住民意識の問題)でしか対応できない。P10の各種活動人口の変化(他都市との比較)を見れば明らかのように、幕張新都心は居住者が多いのが特徴である。この特徴を生かす都市づくりには安全・安心対策は重要である。『まちづくりの理念』が、人間尊重・市民生活優先であれば、安全・安心や小中学校・病院の文字は削除できないはずである。	○	「重要となる3つの要素：都市経営」(P27)のうち、「将来の変化」の欄について、いただいたご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。 【修正】(P27) ・少子高齢化による財源の減少等 ・環境負荷への配慮、災害など様々なリスク ・持続可能な都市経営に向けた新たな仕組みが必要 また、環境負荷については、将来構想では、取組方針に「世界・地球にも貢献できるゼロカーボンシティの実現に向けて先導的な役割を果たす」(P37)、防災対策については「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」(P37)などとしております。いただいたご意見は、これら取組方針に含んでいることから、原文のままとさせていただきます。
55	27	幕張新都心が目指すべき姿	インフラとして地域冷暖房があり、高度利用による脱炭素の実現ができるのではないか。(南北の地域冷暖房の統合や利用する建物の拡大)	-	将来構想では、取組方針に「世界・地球にも貢献できるゼロカーボンシティの実現に向けて先導的な役割を果たす」(P37)などとしており、冷暖房システムなどの、より環境負荷の低い形への更新を取組イメージに示しております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
56	28	幕張新都心が目指すべき姿	「まちづくり理念」においては、「未来を追い求めることでチャレンジし新しさが生まれる街へ」とあるが、幕張新都心の未来を追い求めるには、幕張メッセ等コンベンション施設の価値をどのように高め、人々を千葉市に呼び込めるのか、いつまでにどんな新しい街を目指すのか、課題の整理が必要である。幕張新都心は都心・空港から近く、千葉県のハブとなる街であり、回遊性のある、地域住民、訪れる方に愛される街であるべきではないか。広域連携を視野に入れた構想が必須となる。	-	将来構想では、取組方針に「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」(P37)としており、幕張新都心の持続的な発展に向け、県内をはじめとした広域での連携に取り組んでまいります。 また、幕張メッセは、この先も幕張新都心における中核施設であり、将来構想では、「これからの時代にも対応した、新たなMICEのあり方の提示する」(P31)とし、新たな付加価値を生み出すこととしています。 さらに、まちの回遊性向上については、取組方針に「既存資源を柔軟に活かし、つなげることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する」(P35)としています。いただいたご意見は今後の取組みの参考にしながら、地域住民や来訪者などの皆様に愛されるまちを目指してまいります。

57	28	幕張新都心が目指すべき姿	「幕張新都心まちづくり将来構想」を策定する意義（理由）を、項目をたてて明確に記載されてはいかがか。策定する意義（理由）を関係者が共有できれば、関係者の連携・協力が進むと思う。将来構想を策定する意義は（理由）は、P28に記載の「幕張新都心が発展していくまちであり続けることが千葉県全域の活性化を牽引する」こと、「その効果を千葉県・東京圏へ広く波及させていくことで千葉市の都市ブランド力が向上する」ことであるとする。そのため、下線部分の追記を提案する。	-	将来構想では、「ブランディングを進めていくべき」という関係者・市民の思い（P22）を受け止め、千葉県や東京圏をリードする存在であり続けるために、新たなコト・モノを生み出す「新規性・先端性」を幕張新都心のありたい姿の一つとして掲げておりますので、原文のままとさせていただきます。
58	28	幕張新都心が目指すべき姿	P28「3要素が好循環する姿」の表現は、少しわかりづらいように思う。「「新規性・先端性」と「多様性」の好循環を「都市経営」がより高めるとい姿」に修正されてはいかがか。	○	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。 【修正】（P28） まちづくりの理念に基づき、重要となる3つの要素を「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」とし、「新規性・先端性」と「多様性」の好循環を「都市経営」がより高める姿を幕張新都心のありたい姿として示します
59	28	幕張新都心が目指すべき姿	P28「6. 幕張新都心が目指すべき姿」のうち、重要となる3つの要素「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」について、「都市経営」は言葉足らずの印象があり違和感を覚える。簡潔に表現したいとの意図は理解できるが、「都市経営」に少し言葉を足したほうがわかりやすくなると思う。「好循環を支える（進める）都市経営」「まちづくりを支える（進める）都市経営」「関係者をつなぐ都市経営」などに修正してはいかがか。	-	3要素については、ありたい姿として「幕張新都心から新しいコト・モノを生み出す（新規性・先端性）」、「多様な人・活動を受け入れ応援する（多様性）」、「多様な関係者が連携・協働しながら幕張新都心が持続的に成長するための仕組み・基盤を整える（都市経営）」（P28）と、それぞれの要素の説明を記載しております。説明の重複を避けるため、他部分についてはカッコ内の要素名のみ記載し説明は省略しているため、原文のままさせていただきます。
60	29～38	7章全般	千葉市と千葉県の協働が難解であり大切であるとする。水族館誘致に際して、千葉市のみならず千葉県にも働きかけていく。この幕張新都心を千葉市の構想という文面で終わらせないでほしい。街づくりを共にしていきたいと考え、動こうとしている市民及び企業の声を構想に入れ、千葉市から千葉県に意見を伝え変えていく構想になるよう期待する。	-	将来構想の策定にあたっては、住民・学生・企業・千葉県など、多くの関係者からの意見を取り入れながら策定してまいりました。将来構想の策定を機に、多様な関係者とまちづくりの方向性を共有し、幕張新都心のありたい姿の実現に向けて取り組んでまいります。
61	29～38	7章全般	幕張メッセの国際展示場1-8ホールを廃止し、一橋大学、東京工業大学、東京医科歯科大学、東京外語大学の「四大学連合」を誘致してはどうか。四大学連合は連合を組み学際を越えて一つの総合大学の様な学術研究活動の展開を目指している。柏市やつくば市は誘致した大学が核となり発展を遂げている。「四大学連合」の誘致は幕張新都心再開発構想の核になりうる。	-	幕張新都心は、「職・住・学・遊」の複合機能を備えたまちであり、将来構想では、これらの機能をより高めていくことを、まちづくりの方向性として掲げております。
62	29～38	7章全般	幕張メッセの国際展示場1-8ホールを廃止し、国連の研究機関である「国連平和大学」を誘致してはどうか。同大学の本校は軍隊を持たない南米コスタリカにあり、国際的な人道支援を行う高等教育機関である。同じく軍隊を持たない日本の渋谷には「国際連合大学」がある。「国連平和大学」は、世界各地に分校やセンターをつくり世界各地のネットワーク形成を目指しているため、国際性を旨とする幕張新都心に相応しいと思う。	-	また、幕張メッセは、この先も幕張新都心における中核施設であり、将来構想では、取組方針に「これからの時代にも対応した、新たなMICEのあり方の提示する」（P31）とし、新たな付加価値を生み出すこととしています。
63	29～38	7章全般	幕張メッセの駐車場を廃止し、日本のみならず世界各地の名物フードを集める世界最大級の常設「フードトラック・パーク」と、千葉県の名産を集め広い駐車場を備えた日本最大級の「道の駅」を設置してはどうか。既設・新設の各種施設と有機的に連携することで、相乗効果を発揮し、充分横浜に対抗できる。	-	いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

64	29~38	7章全般	5項目目に、「今後も発展していくまちであり続けるため、概ね20~30年後の将来を見据えたまちづくり」と記載されているが、ここで言う発展とは何を指標（人口など）とするのか明確にしておく必要がある。職、住、学、遊のいずれかを明確なターゲットとしない限り、発展させる対策も抽象的になり、総花的になる。人間が生活する上で重要な要素は、衣・職・住である。20年前と比べると、現在はJR海浜幕張駅前の衣・食の部門が寂しく映る。隣接する新駅の開業により、さらに悪化することを危惧している。	-	将来構想は、将来のまちづくりの方向性を示すものであり、具体的な指標を設定することはありません。 幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市としてまちづくりを進め、その特徴を生かしながら発展を遂げています。この先の持続的な発展に向けても、この幕張新都心らしさを高めていくことが重要です。そのため、将来構想では、「職・住・学・遊」に関する4つのまちづくりの方向性と、これらの機能を下支えする「連携」に関する3つのまちづくりの方向性を位置付けております。 また、取組イメージとして「幕張豊砂駅開業を契機に域内外をつなぐモビリティサービスの充実やそれらを一体的に提供する MaaSの実現」(P35)などを例示しております。
65	29~38	7章全般	将来構想の取組方針の中に、「デジタル技術の活用」があるが、新たな技術の開発は新たな犯罪を生む。また、社会のIT化により健康を損なう人達がいる。技術の開発を地球温暖化の観点からみると、それを製品にする過程で二酸化炭素が発生する。このようなことから、デジタルを利用したまちづくりではなく、電機をなるべく使わず、昔ながらの節度を保とうとする生活を基礎としたまちづくりを望む。	-	デジタル技術の進展により、メリットだけでなくデメリットも存在することは承知しております。ご指摘いただきました点に配慮しつつ、今後のまちづくりに取り組んでまいります。
66	29~38	7章全般	千葉市だけの問題ではなく、千葉県はもとより、他市をも巻き込んだハードを連携し構築する必要がある。1983年千葉県新産業三角構想で、住宅予定地から変更され、拡大地区はバブル崩壊により大企業が撤退し、コストコ、イオンモール他の商業施設のおかげで持ち直すことができた。県を巻き込んで習志野市芝園エリア、南船橋エリアなど、ベイエリアを一つとして補完し合うなかでの位置付けることはできないか。主なハード施設(7.0km圏内)・習志野市芝園エリア(県水泳場、千葉工業大学)、船橋市南船橋エリア(船橋競馬場、新設バスケットボールアリーナ、谷津干潟、食料コンビナート)など。千葉市内でのバランスでは、蘇我スポーツ公園との関係、千葉駅前・市民ホール建設、千葉公園・TIPSTAR DOME CHIBAの利用などとの整理をした方がよいのではないか。	-	将来構想では、取組方針に「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」(P37)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
67	29~38	7章全般	その他、以下のとおり提案する。国際会議を誘致することで、他県や、諸外国の滞在型人数を増やす。(劇場型会議の建設)細かく停車し、循環運行できる新交通システムの提案やベイエリア横断ライナーの建設。ベイエリアはスポーツ施設が多いため、練習できるプログラムづくり(公園、砂浜での公式ランニングコースや、県水泳場、運転免許センターの技能試験道路での利用による基本トレーニングの設定)。パチャール時代に、どれだけ人と触れ合いや香り匂いがすることができるかではないか。	-	将来構想では、取組方針に「エリア全体での一体感を向上させるため、産学官の協働によりモビリティサービスを充実する」(P35)、「スポーツ資源を、より地域に対して開かれたものとし魅力を向上させる」(P34)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
68	29~38	7章全般	街のコンセプトとしては、音楽・スポーツ・文化・エンタメを柱に、デジタルとグローバルと多様性を軸にした、回遊性のある地域づくりが必要であると思う。	-	将来構想では、取組方針に「各施設・催しと連携しながらまちの賑わいをより面的に広げ高める」、「デジタル技術も活用するなど、幕張新都心でしか見られない新たな文化、エンターテインメントの創出・発展を進める」(P34)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
69	29~38	7章全般	今後の検討の中でコア機能を何にしていくのか明確にしていく必要がある。	-	幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市としてまちづくりを進め、その特徴を活かしながら発展を遂げています。今後の持続的な発展に向けても、この幕張新都心らしさを高めていくことが重要であり、将来構想では、これまで幕張新都心らしさを構成してきた「職・住・学・遊」それぞれの機能を高めていく4つのまちづくりの方向性と、それらの機能を下支えする「連携」に関する3つの方向性を掲げています。

70	29~38	7章全般	周辺地域の企業等の協力を得て、産・官・学・住の協働による都市経営組織を設立し、戦略プランを実現化していく。	-	将来構想では、取組方針に「関係団体等の活動が連携・拡大し、一体となってまちづくりを進めることができる仕組み・運営体制をつくる」(P37) などとしております。エリアマネジメントの仕組みやあり方について、幅広い関係者の皆様とともに検討してまいりますので、今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
71	31	職に関すること	産業が多様化する中において幕張メッセが競争を勝ち抜くには、特にアジア市場を視野に入れ、例えばアニメ分野に特化した国際展示会・イベントを集中的に誘致・開催する方針を立て、先行投資を含め戦略的な事業展開を図るべきである。併せてイベントのスポンサーであるアニメ関連企業の誘致やアニメクリエイターの育成など広い視野に立って産業の基盤整備に取り組むべきである。	-	将来構想では、取組方針に「先進的な取組みや分野横断型ビジネスへチャレンジできる環境をつくる」(P31)、「世界に開かれ、国際性豊かな幕張新都心を目指すための環境をつくる」(P31)としております。 いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
72	31	職に関すること	幕張新都心を真の国際都市にするためには、富裕層向けの高質ホテル誘致が不可欠である。将来的にはIRの誘致が想定される。国際ホテルにコンパクトなカジノを付設し、入場には日本人にもパスポートを要求するような運営が考えられる。国際都市のスタンダードとしてのカジノが備われば、新時代のコンベンション都市に変貌することになる。	-	現時点でIR誘致の計画はないものの、本市がグローバルレベルのMICE誘致力を有する都市であり続けるための方策については、社会経済状況の変化も見据えつつ様々な観点から研究してまいります。
73	31	職に関すること	コワーキングスペースがほしいです。一人の狭いデスクだけの空間も良いが、2~3人用や広めの一人スペースで、VR体験ができると面白い。またコワーキングスペースとサウナが繋がっていると最高です。サウナブームはこれからも廃れないと思う。	-	将来構想では、取組方針に「リモートワーク時代のなかで、幕張新都心の豊かな自然環境を感じながら、柔軟に働ける環境をつくる」(P31) などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
74	31	職に関すること	「取組方針と取組イメージ」の中には、「MICEの開催を通じた産業振興や産業人材育成」とあるが、幕張メッセ開設当初においては、このようなMICE開催の効果を期待していたことは理解できる。しかし現状の幕張メッセでのMICE開催状況から、こういったことが今後も期待しえるものか？現実を直視したうえで「目指すべき姿」を示すべきであり、そういった姿に向かうという強い意志があるのであれば、そのための処方箋「10年後、20年後における『施設としての幕張メッセ』」を示すべきではないか？	-	幕張メッセは、引き続き幕張新都心の中核施設であることから、将来構想では、取組方針に「これからの時代にも対応した、新たなMICEのあり方を提示する」(P31) などとしております。今後も株式会社幕張メッセや千葉県など関係者の皆様と緊密な連携を図りつつ、新たな付加価値を生み出せるよう検討してまいります。
75	31	職に関すること	「ハイブリッド・バーチャルに対応した新時代のMICE開催により、国内及び国際的な存在感の向上」とされているが、国内外の類似施設がこぞって同じ方向に進んでいる中で、どうやって「存在感の向上」ができるのか理解できない。この方向に進むのは当たり前のものであり、むしろこの方向に向かえない施設は「存在することができない」のであって、肯定的な表現（「存在感の向上」）を示すべきではないと考える。	○	時代のニーズに対応する取組イメージであることから、いただいたご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。 【修正】(P31) ハイブリッド・バーチャルに対応した新時代のMICE開催
76	31	職に関すること	客観的な現状把握や科学的なデータの分析を行い、今後幕張メッセという施設を、どうしていくべきかという議論も行ったうえで「幕張新都心まちづくり将来構想」を検討すべきではないかと考える。幕張メッセが20年後も今のままの姿（ハード面）を維持し、当初期待された機能を発揮し続けることができるのか、そうするためにはどうするのか、こういった議論を棚上げしたまま「幕張新都心まちづくり将来構想」を検討するのは、根源的な視点が欠如しているのではないかと危惧するが、いかがか？	-	幕張メッセは、引き続き幕張新都心における中核施設であり、まちづくりに大きく影響を与える施設と認識しております。将来構想では、取組方針に「これからの時代にも対応した、新たなMICEのあり方を提示する」(P31) などとしております。今後も株式会社幕張メッセや千葉県など関係者の皆様と緊密な連携を図りつつ、新たな付加価値を生み出せるよう検討してまいります。 いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

77	31	職に関する こと	海浜幕張に存在するもしくは、今後設立される病院施設等を活用して、「スポーツ」・「健康」を軸とした「医療」・「介護」分野に対応した街づくりを実施。	-	将来構想では、取組方針に「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」(P37) などとしており、取組イメージとして「市民が必要とする医療を切れ目なく提供し、大規模災害時も機能を維持できる施設・設備を備えた新病院と医療機関等との連携体制の構築」などを、例示しております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
78	31	職に関する こと	国際化推進。国際機関の誘致による専門化とともに外国人の人材の呼び込みを図る。	-	将来構想では、取組方針に「世界に開かれ、国際性豊かな幕張新都心を目指すための環境をつくる」(P31) などとしております。関係者の皆様と連携を図りながら、いただいたご意見を参考に、未来型の国際業務都市としての更なる発展を目指してまいります。
79	31	職に関する こと	本社機能の移転誘致の強化(雇用、スモールオフィス化)、ベンチャー企業の誘致(地元企業との連携強化や家賃支援等)、異業種交流会等によるビジネスの発展。	-	将来構想では、まちづくりの方向性として「まち一体となって新たなコト・モノを生み出し続ける環境をつくり、産業活動の拠点として成長する」(P31) を掲げており、ビジネスの場として選ばれる環境整備を進め、積極的な企業誘致を行っていくことが必要であると認識しております。また、取組方針に「企業同士の協働、学生・住民との協働により、新たなコト・モノが生み出されるための環境をつくる」(P31) などとしております。いただいた企業立地等に関するご意見を参考にしながら、産業活動拠点として、まちの更なる成長を目指してまいります。
80	32	住に関する こと	取組方針が、表に記載されている「関連する3要素」のいずれに相当するかの判断基準が分からない。特に、都市経営についてであるが、P27の記載内容から推察すると、都市経営とは、市役所が所管するハード・ソフト両面でのインフラ整備と思われる。とすると、2-1-①住宅機能の維持向上や段階的な更新は、民間任せということなのか？ 2-2-①保育環境や教育環境の充実、放課後のこどもの居場所の充実には、市役所は関知しないということなのか？ 両者とも都市経営には●表示がない。	○	ご指摘のとおり、7つのまちづくりの方向性に基づく取組方針は、濃淡はあるものの3要素と関連があり明確な区分は困難であることから、誤解を生じさせないために「関連する3要素」(P31~37)の●表示は削除することとしました。
81	32	住に関する こと	「来街者と地域住民、就業者、大学関係者が集い、交流する書店やカフェなどで構成する複合商業施設(例としてT-SITE)」を幕張新都心に誘致できると良い。地域の交流スペースとして、また学生などが世代を超えて交流できるようなイベント開催の場として活用するなど、「学びを得られる環境の創出」の実現にも利用できるのではないかと。T-SITEに限らず、「地域での交流」ができ、「学生や子育て世帯へアプローチ」できる施設があれば、誘致を検討して欲しい。	-	将来構想では、取組方針に「全ての子育て家庭が安心して楽しく子育てができる環境を築く」(P32)、「幕張新都心で誰もが刺激的に学び合える場をつくる」(P33) などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
82	32	住に関する こと	学生のためのシェアハウス特区があると良いのではないかと。せっかく学校が幕張にあるのに高くして幕張には住めないと、聞いたことがある。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心の多様性を踏まえつつ、誰もが暮らしやすく活躍できる環境をつくる」(P32)、「企業同士の協働、学生・住民との協働により、新たなコト・モノが生み出されるための環境をつくる」(P31) などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

83	32	住に関する こと	「幕張メッセ等のイベントでのボランティアなど、住民がまちの運営に参画する機会の拡充」という記述がある。幕張メッセでの催物のほとんどは別に主催者・興行主が存在し、幕張メッセという一連の施設群は、端的に言えば「箱」であり、施設を貸し出しているにすぎない。そういった現実にあって「幕張メッセ等のイベントでのボランティア」というものは可能なか？主催者・興行主が公的セクターであればコントロールも可能であろうが、この点も現実を直視せず、イメージでの記述に留まっていると考えるが、いかがか？	○	「幕張メッセ等のイベント」は、あくまで幕張新都心で行われる大規模イベント等の一つの例示であることから、いただいたご意見を踏まえ、取組イメージを以下のとおり修正しました。 【修正】(P32) 幕張新都心で行われる大規模イベントにおけるボランティアなど、住民がまちの運営に参画する機会の拡充
84	32	住に関する こと	ペイタウンは定期借地権付き住宅が多いように聞いているが、更新時期後はどのようにするのか教えてほしい。	-	将来構想は、概ね20～30年後の将来を見据えたまちづくりの方向性を示しております。ご質問に関する情報は現時点で把握しておりませんが、千葉県をはじめとした多様な関係者の皆様と、幕張新都心の目指すべき方向性等を共有し、緊密に連携を図りながら、まちづくりを進めてまいります。
85	32	住に関する こと	全世代に対応した居住環境を目指す。コンパクトシティ化。衣・食・観光（スポーツ）がセットとなったような街づくり。医療施設の充実と将来の高齢化を視野に入れた福祉施設の計画。託児所や夜間保育施設の充実。	-	将来構想では、まちづくりの方向性として「ライフスタイルの多様化に対応した、魅力的な住環境を築く」(P32)を掲げております。「職・住・学・遊」の複合機能を活かしつつ、子育て世帯や高齢者が暮らしやすい生活環境の構築に向け、今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
86	33	学に関する こと	学生、高齢者、子育て世代まで、皆が生涯を通じて学び、成長していくことが望ましい。既存の商業的なスクールや塾、習い事にとどまらず、「地域から学ぶこと」は実に多くて深い。そのために幕張版TEDのMED (Makuhari Entertainment Design)を設立する。まちづくりにとって必要な人を選出し紹介するとともに、幕張のシンボリックな場所でスピーチを行いデジタル配信する。視聴者は日々のくらしや、自身の学びに役立てることができ、街への帰属意識も高まることだろう。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心で誰もが刺激的に学び合える場をつくる」(P33)としております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
87	33	学に関する こと	P11の学に関する現状分析では、幕張新都心が小・中・高の校数と在学者数が多いという特徴を記載している。しかし、学に関する取組方針と取組イメージでは、小・中・高に関する記述が一切ない。将来構想策定においては、20～30年後を見据えたまちづくりとしておきながら、その年代を担う世代にフォーカスしないのは近視眼的な発想しかないからだと思う。「新しさ」を追求しようとしている本計画書において、学に関する取組方針等が少なすぎるため、再考をお願いする。	○	将来構想では、取組方針に「幕張新都心で誰もが刺激的に学び合える場をつくる」(P33)など、としております。いただいたご意見を踏まえ、取組イメージに以下のとおり④を追記しました。また、対象範囲に地域の児童・生徒・学生を含んでいることを明確にするため、「学生」と記載していた部分を、以下のとおり「就学者」と修正しました。 【修正】(P33) No.1-③就学者、ワーカー、シニア、外国人等、幕張新都心に住む・活動する人々の知見・技能のシェアリング No.1-④若葉住宅地区の小学校新設による、新しい時代の学び・生活の場づくり(追記) No.2-②リビングラボなど地域の住民・就学者が主体的に参加できる共創環境の提供
88	33	学に関する こと	研究機関等について、幕張新都心に存在しなければならぬ理由はないと思う。たとえ土地を無償で貸したとしても、さらに狭いであろう。県や市の雇用が増えるかは疑問である。税収入もたかが知れている。	-	幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市として発展を遂げてきました。教育機関に加えて7つの研修施設等が立地し、多様な学術・教育研修機能が集積している文教地区は、幕張新都心の「学」の機能を担うものと認識しています。

89	33	学に関すること	教育施設の更なる拡充、特に先端技術開発を目指す人材を育成するための大学、研究所の誘致。音楽・美術系大学や専門学校誘致。大学まで一気通貫で学べる学校施設の誘致や幕張にしかない学校のブランド化。	-	将来構想では、まちづくりの方向性として「多様な活動主体が刺激的で先端的な学びを得られる環境を創出する」(P33)を掲げております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
90	33	学に関すること	「職」・「住」と連携し、リカレント教育の場を作る。	-	将来構想では、「職・住・学・遊」の機能の融合や交流を促進することとしており、取組方針に「幕張新都心で誰もが刺激的に学び合える場をつくる」(P33)などとしております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
91	34	遊に関すること	ZOZOマリスタジアム前の海に栈橋を作ってフェリーで浅草、お台場、竹芝あたりまで行く航路を作るのはいかがか。海があるのに利用できていない。船で通勤する人がいても良いと思う。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間へ高める」(P34)としております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
92	34	遊に関すること	ZOZOマリスタジアム前に松原があって海を感じる事ができない。遮断されている。海浜幕張駅からAPAホテル前の信号を渡り球場までの間に商業施設を誘致してはどうか。歩いても殺風景で楽しくない。	-	
93	34	遊に関すること	幕張海浜公園の松林の活用について、次世代向けの在り方を提案する。こどもがこどもらしく遊べる遊び場(プレイパーク)や環境学習の場、幕張の歴史資料展示、海の博物館などの空間整備。	-	
94	34	遊に関すること	幕張の浜には憩いの場がなく夏場は日陰が確保できない、また行き交う人のコミュニケーションが希薄であることが課題である。そのため、松林においては、マインドフルネス体験の場、リラクゼーションスペース、ファミリーテントスペース、常設飲食スペースの整備を提案する。浜辺においては、フードコート、キッチンカー、マルシェ、ドライブインシアターによる活用を提案する。また飲食の提供は環境に配慮した容器を使用する。	-	
95	34	遊に関すること	幕張の浜の管理体制について、常駐パトロール員と清掃員の配置を望む。また清掃業務については、障がい者支援団体による業務を提案する。	-	
96	34	遊に関すること	JR京葉線の新駅「幕張豊砂駅」からZOZOマリスタジアムまでの道路を、南国情緒漂うブルームナードにしてはどうか。	-	将来構想では、取組イメージとして「市街地と浜辺・海辺エリアの一体性と回遊性を創出するための連続的なアプローチ空間の形成」(P34)を例示してしております。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
97	34	遊に関すること	ZOZOマリスタジアム隣の幕張海浜公園野球場を廃止して、日本最大級の「グランピング・パーク」と「フィッシャーマンズワーフ」と「遊覧船ハーバー」を新設してはどうか。また、「幕張の浜」も綺麗に整備されたビーチ公園とし、浜沿いの防風林の要・不要の再検討も含め、「JFA湯楽の里」まで幅広いボードウォークを付設するなど一体開発をしてはどうか。	-	幕張新都心には緑・公園・海といった地域資源があります。まちづくりの方向性として「地域資源を磨き、人を惹きつけるまちの魅力を高める」(P34)を掲げております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
98	34	遊に関すること	ZOZOマリスタジアムとJFA夢フィールドには、もっと大々的に小学生から大学生をトレーニングする活動をするよう要請し、もっと人集めに協力してもらおう。せっかくの施設を有効に活用したい。	-	将来構想では、取組方針に「スポーツ資源を、より地域に対して開かれたものとし、魅力を向上させる」(P34)としております。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

99	34	遊に関する こと	P34・4-1「各施設・催しと連携しながら、まちの賑わいをより面的に広げ高める」は、次頁の【5. 柔軟な活用・回遊性に関すること】の категорияに属すると思う。ただし、取組イメージの③、④は、記載の通りでよい。	-	ご指摘いただきました項目につきましては、まちづくりの方向性における「地域資源を磨き、人を惹きつけるまちの魅力を高める」(P34)と「柔軟な活用・回遊性に関すること」(P35)の両項目に係ると認識しておりますが、賑わい向上の比重が大きいことから、当該ページへ記載しているため、原文のままとさせていただきます。
100	34	遊に関する こと	浜辺海辺エリアのシンボリックな空間について、ボードウォークを作って人々が散歩して黄昏やすい空間があるといい。ヨガや太極拳が体験できたり、飲食等のキッチンカーや真水が出る水道があるといい。夏は松林が涼しいので、ハンモックを置くなど活用すると良い。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間を高める。」(P34)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
101	34	遊に関する こと	幕張の浜がメタバース空間と連動しても面白いと思う。メタバース上の会員がリアルタイムで幕張の浜の夕陽や鳥を見ることができたり、実際に来た会員は特別席で夕陽が見れたり。収入源にもなると思う。	-	
102	34	遊に関する こと	浜辺は花火ごみや、たばこの吸殻ごみが絶えないので、特区を作ったり、浜辺に簡易灰皿を置くのも良いと思う。また、ボランティアが海で拾ったごみを、広げて展示できるスペースがあると、どんなごみが漂着または飛来して来るのか知ってもらうことができる。拾いやすい環境を整えることが、きれいな海に来てもらうためにとても大事である。	-	
103	34	遊に関する こと	今後、幕張メッセでの大規模イベントなどは減ると思うので、室内ランニングスポットとして開放することを提案する。紫外線を浴びずに長距離を走れるのは魅力的である。無料給水スポットがあり、プロテインやナッツ、果物など、本当に体に良い食べ物が簡単に買える、食べられる場所があるとよい。	-	
104	34	遊に関する こと	この地域をつなぐ試みとして、「ボードウォーク」を提案する。ニューヨーク市コニーアイランドなどに見られるが、ベビーカー、車いす、シルバーカー、徒歩の人が利用できるボードウォークを浜沿いに整備し、その脇に事業者による施設が配置されるようになれば、一体性や回遊性が構築できると考える。ボードウォークを幕張のシンボルとすることで、誰もが楽しめる、親しめる空間にすることができるのではないかな。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間へ高める」(P34)としております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
105	34	遊に関する こと	幕張海浜公園内に国内唯一、かつ世界最大規模の、三種目完全屋内型_MAKUHAR1スポーツライミングセンターの千葉市による建設を提案する。国内外ナショナルチーム、全国の大学高校の合宿地として誘致活動を行うMAKUHARI、CHIBAの名を世界中のスポーツ界に響き度らせる。また、ワールドカップ、世界選手権の会場として定着化させ、千葉からスポーツライミングチャンピオンを輩出する。県、市財政に負担を掛けない自立運営を構築する。これらは新たな事業、雇用の創出につながる。	-	将来構想では、取組方針に「スポーツ資源を、より地域に対して開かれたものとし魅力を向上させる」(P34)及び「まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす」(P36)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
106	34	遊に関する こと	公園はあるが、人のにぎわいはない。駅から誘導できるような工夫をして緑を満喫できるようにする。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間を高める」(P34)などとしております。公園が身近な施設としてより多くの方々に利用していただけるよう、いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。



107	34	遊に関する こと	ナイトタイムを健康的に過ごせる、安心安全な施設（レストラン・パブ等）の展開。	-	将来構想では、取組方針に「各施設・催しと連携しながらまちの賑わいをより面的に広げ高める」（P34）などとしており、取組イメージとして「幕張メッセ等でのイベントに合わせたナイトタイムエコノミーの充実」などを、例示しております。 いただいたご意見も参考にしながら、関係者の皆様とともに今後の取組みを検討してまいります。
108	35	柔軟な 活用・ 回遊性 に関する こと	交通渋滞が大きな問題だと思う。集客施設や商業施設等へ行くバスが渋滞に巻き込まれ、相当な遅れが生じている。幕張新都心内バス路線を軸に、ゆりかもめのような新交通システムの導入を考えてはどうか。費用を考慮し、バス専用レーンを増設や高架化という手段でも良いと思う。	-	将来構想では、取組方針に「エリア全体での一体感を向上させるため、産学官の協働によりモビリティサービスを充実する」（P35）としております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
109	35	柔軟な 活用・ 回遊性 に関する こと	ZOZOマリンスタージアムを移転する場合、屋根を設置する必要があると思う。屋根により試合スケジュールを消化できるため、他のイベントも設定しやすくなり、高収入に繋がると思う。長く愛される球場作りのために、考えていただきたい。クラウドファンディングも良いかと思う。	-	ZOZOマリンスタージアムについては、竣工から30年以上が経過し老朽化が進んでいることから、幕張新都心におけるまちづくりの視点も踏まえたスタジアムのあり方について総合的に検討し、新スタジアムの建設又は現スタジアムの改修についての方向等を明らかにしていくための基礎調査に着手したところであり、今後、まちづくりの中核を担う交流拠点となるよう、幅広く検討していきたいと考えております。いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。
110	35	柔軟な 活用・ 回遊性 に関する こと	ZOZOマリンスタージアムについて、ドーム球場にする事を提案する。また、芸人や歌手のイベントに多く使用してもらい、国内外含め知名度の高い場所にして頂きたい。それにより、人口増、イメージ向上、経営面、各所からの投資など、良い影響が生まれて来ると思う。	-	
111	35	柔軟な 活用・ 回遊性 に関する こと	コロナの流行や時代の流れにより幕張メッセにおけるイベントが減少しているため、幕張メッセの活用方法について提案をする。学校の部活動で利用、マンスリーや季節単位の賃貸、身体づくりやトレーニングのセミナー開催、VR参加の音楽イベント実施、年代を問わないダンスやラジオ体操の実施など。また、スケボーの練習スペースとして活用することにより、事故を削減する。	-	幕張メッセは、この先も幕張新都心における中核施設であると認識しているため、今後も株式会社幕張メッセや千葉県などの関係者の皆様と緊密な連携を図ってまいります。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
112	35	柔軟な 活用・ 回遊性 に関する こと	ハード面における方向性を、明確に記載した方が、この構想の全体像や立場が関係者に伝わりやすくなると思う。 この構想の対象となる今後20～30年間は幕張新都心の「成熟期」であり、ソフト面での取組を充実させることで都市の魅力をさらに高めていくとの考えのもと、ソフト面における方向性を中心に記載されているものと思われる。他方、ハード面については部分的には記載があるものの、大きな方向性と言えるようなものはないため、まちづくりの構想として物足りなさを感じる。関係者が連携・協力を進めていくうえでも、重要な要素であると思う。	-	将来構想では、取組方針に「時代に即した土地利用の柔軟な運用によりエリア全体の融合を促進し、賑わいを高める」（P35）としております。 まちづくりの7つの方向性に基づき、関係者の皆様と連携して今後の取組みを推進してまいります。
113	35	柔軟な 活用・ 回遊性 に関する こと	都市文化を今につなぐヨーロッパをお手本に「旧市街地」として、メッセモールを観光資源として活用しながら保存地区に指定してほしい。平日はビジネスマンらの憩いの場となるが、休日は死角状態であり、駅からの動線・サインの工夫がかねてからの懸案事項である。	-	将来構想では、取組方針に「空間の柔軟な活用・資源のシェアリングによりエリア融合・回遊性向上を促進する」（P35）としており、取組イメージとして「メッセモールなどの官民空間の一体的かつ柔軟な活用・仕掛けづくり」（P35）などを例示しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

114	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	広い域内に幾つもの施設ができ、それらが有機的に効果を発揮するには、新交通システムが必要である。そこで、幕張新都心には、縦横かつ隅々まで回遊し誰もが気軽に利用できる新交通システム、出来れば無料の新交通システムの構築を提案する。	-	まちの回遊性を高める必要があることから、将来構想では、取組方針に「エリア全体での一体感を向上させるため、産学官の協働によりモビリティサービスを充実する」（P35）としております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
115	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	駅と目的地との単純な移動が多く、回遊性が乏しいと聞いている。そのため、単に目的地に行くのみではなく、街の中の「寄り道・道草」を楽しみとする「海浜幕張スタンプラリー」を提案する。対象は子供に限らず、大人、インバウンドを想定し、街の飲食店やショップなどの割引を受けられる仕組みを用い、地域活性化にも活用する。	-	将来構想では、取組方針に「まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす」（P36）などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
116	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	幕張の浜に「ボードウォーク」を敷設し、市民や訪問客の憩いの場として活用し、幕張新都心に「アーバンリゾート」的な一面を加えてみてはどうか。ボードウォークはバリアフリー仕様で、ベンチやレストハウス、イベント貸出スペース、海洋学習もできる「幕張の浜ビジターセンター」を設置する。実現には、建設の実現性の調査や法的な根拠、具体的な開発案の策定や民間企業の招致など、様々な課題検討や要件調整など、大変な作業が必要であることは承知している。眠っている地域資源である幕張の浜のポテンシャルを引き出し、新たな地域の活性化に繋げてほしい。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間を高める。」（P34）などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
117	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	ベイパークエリアの住宅建設、小学校新設、海浜病院移転など人口増が見込まれることから、海浜幕張駅東口改札増設が決まった。さらに北口再開発もあり、イベントやプロ野球開催日等の混雑が見込まれるため、人流分散での安全の確保が必要である。来年オープンと聞いているが、早急の完工が望まれる。	-	交通結節機能の強化や利用者の利便性向上を図るため、海浜幕張駅の蘇我方への改札口新設の整備を促進することとしています。基本協定を締結した東日本旅客鉄道株式会社や幕張新都心若葉住宅地区まちづくりグループと協力して円滑に事業を実施してまいります。なお、現段階では着手及び完成時期は未定となっております。
118	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	海浜幕張周辺は交通の便が悪いと思う。京葉線は千葉駅に行く際の蘇我の乗換えや東京駅での乗換え、混雑した接続バスは不便である。計画を断念したモノレールを再検討し、千葉駅まで乗換えなしで行けるようする、接続バスの区間にLRT導入、総武線の幕張新都心方面への延伸など交通面の改革が必要だと思う。モノレールや路面電車は都市開発の起爆剤になると思われる。すぐに採算が取れなくても、脱炭素化の流れで、車移動を主流でなくすためにも必要なのではないか。	-	千葉都市モノレールの延伸は、延伸計画を廃止しており困難であります。その他のいただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
119	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	P35・5-1「1.時代に即した土地利用～」とあるが、まさに30数年かけて建設された幕張新都心の建設は、この「時代に即した土地利用」を行うことが出来たために、現在の姿を現出することができたと思う。幕張新都心のような超ビッグプロジェクトのプランを変更しながら建設を進めることは容易なことではないと思う。しかしそれを実現できたのが幕張新都心である。これからもこのような「柔軟性」を大切に「進化」して欲しいと願う。	-	将来構想では、まちづくりの方向性として「既存資源を柔軟に活かし、つなげることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する」（P35）を掲げております。この先も、「柔軟性」を取り入れたまちづくりを進めていくことで、幕張新都心の更なる発展を目指してまいります。
120	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	ZOZOマリスタジアムをメッセ駐車場へ移設し、北海道日本ハムのようなコミュニティパークで、野球をはじめとした皆が集まる場を提供する。（やはり地元チームは継続してほしい）その後、ZOZOマリスタジアム跡地にグローバル視点での大型リゾートホテルを設立する。リモート（オンライン）によるグローバル発信の中心地となるであろう。	-	ZOZOマリスタジアムについては、竣工から30年以上が経過し老朽化が進んでいることから、幕張新都心におけるまちづくりの視点も踏まえたスタジアムのあり方について総合的に検討し、新スタジアムの建設又は現スタジアムの改修についての方向等を明らかにしていくための基礎調査に着手したところであり、今後、まちづくりの中核を担う交流拠点となるよう、幅広く検討していきたいと考えております。いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。

121	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	新駅→イオン→コミュニティパーク→メッセ→海辺のように、人が集まりコミュニケーションをとり、新たな価値を生み出すサイクルをつくる。新駅→コミュニティパーク→メッセ→サッカーフィールド→中央公園方面に、無人トラムを走行させる。気軽に移動できるが、自動車社会は減らし渋滞を解消させる必要がある。	-	将来構想では、取組方針に「エリア全体での一体感を向上させるため、産学官の協働によりモビリティサービスを充実する」(P35)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
122	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	住民が運転するトゥクトゥク(電動)を提案する。駅と海や、家とスーパーなどの決まったルートでもよいと思う。シニアや学生のアルバイトにもなり、楽しそうである。路上駐車も減るのではないではないか。	-	将来構想では、取組方針に「エリア全体での一体感を向上させるため、産学官の協働によりモビリティサービスを充実する」(P35)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
123	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	ZOZOマリンスタージアムのあり方検討が行われるが、「あり方」とは「新スタジアムの建設または現スタジアムの改修」である。もし「新スタジアムの建設」ということであれば、前市長(現知事)が以前発言なされたように、幕張メッセ駐車場での建設ということもありうる。その場合、幕張メッセの催物開催に大きな制約(来場者用の駐車台数への制限、出展者の搬出入時の待機場所・駐車場所の不足など)が生じる可能性があると考えため、それらの議論は必須と考えるが、いかがか?少なくとも「ZOZOマリンスタージアムのあり方」は今後の「幕張新都心まちづくり」のあり方に大きく関連してくることをはっきりと示すべきと考える。	-	ZOZOマリンスタージアムのあり方は、幕張新都心のまちづくりに大きな影響があると認識していることから、取組イメージ(P35・5-1-③など)を記載しております。今年度から「ZOZOマリンスタージアムのあり方検討」に着手しており、いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
124	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能を備えているというが、はっきり分かれているため、多様性を確保するために、連携をすすめることが必要だと思う。オフィス街は人通りがなく、閑散とした印象。にぎわいを感じられるようになると思う。例えば、回遊でき、ベンチがあちこちに置かれ憩える空間が欲しい。バリアフリーな歩行空間(スカイウェイにエレベーターをつけるなど)	-	将来構想では、「連携」に関するまちづくりの一つの方向性として、「既存資源を柔軟に活かし、つなげることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する」(P35)を掲げております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
125	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	野球場はボールパーク化する(JFAの施設は今後必要なか検討する)	-	将来構想では、取組方針に「スポーツ資源を、より地域に対して開かれたものとし、魅力を向上させる」(P34)などとしております。また、ZOZOマリンスタージアムについては、竣工から30年以上が経過し老朽化が進んでいることから、スタジアムのあり方についての基礎調査に着手したところであり、今後、幕張新都心のまちづくりの中核を担う交流拠点となるよう、幅広く検討していきたいと考えております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
126	35	柔軟な活用・回遊性に関すること	地域回遊性の確保による、幕張の浜から稲毛の浜までの海岸沿いの資産の活用。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間へ高める」(P34)などとしております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。なお、本市では官民連携による稲毛海浜公園(稲毛の浜含)のリニューアルを進めており、浜辺・海辺エリアの回遊性向上にもつながるよう、取組みを検討してまいります。

127	36	市民参加に関する こと	将来構想なので、実在していないものも考慮しないと意味がないと思う。嘆願書や新聞記事掲載、街を網羅した連名で十分に実績を示しているの、水族館誘致について、明記することを検討してほしい。住民の方々からは、応援する、期待している、楽しみにしている、と言われている。	○	集客施設の存在は、幕張新都心に来訪を促すうえで重要であると認識していることから、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。なお、水族館については、運営主体や事業計画がさらに具体化されることが必要と考えられます。 【修正】(P36) 取組方針：まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす 取組イメージ：集客施設の誘致や魅力向上による地域資源の充実
128	36	市民参加に関する こと	幕張メッセにおけるイベントのあり方について、横浜市、さいたま市、全国主要都市にある各アリーナを参考とし、芸人や有名人、歌手などを活用し、認知度を高めてはどうか。幕張メッセで実施する事が、東京都千代田区の武道館で実施するのと同じ位の重みのある施設になればと思う。	-	将来構想では、取組方針に「まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす」(P36)、「これからの時代にも対応した、新たなMICEのあり方を提示する」(P31)などとしております。今後も株式会社幕張メッセや千葉県など関係者の皆様と緊密な連携を図りつつ、新たな付加価値を生み出せるよう検討してまいります。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
129	36	市民参加に関する こと	幕張メッセ来場者に対し文化プログラムとして加曽利貝塚を推奨したい。動物公園や農業地帯を組み込んだ「グリーン観光」コースを設定して幕張新都心の「アーバン観光圏」と組み合わせてプロモートすることで千葉市の魅力を高めたい。	-	幕張新都心の発展による効果を千葉市内他地域へ波及させることは重要であることから、将来構想では、「幕張新都心が発展していくまちであり続けることが千葉県全域の活性化を牽引する」(P28)を掲げております。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
130	36	市民参加に関する こと	コンテスト形式で、多様な人々に街への思いを表現してもらうのがいい。そして、優勝な作品を「幕張大賞」として発信する。文化芸術と学びとエンタメと幕張の関連をデジタルトランスフォーメーションで「見える化」すること。デザインや工学系大学などに卒論のネタとしてアプローチするなど多様性の知恵を「可視化」するのも必要である。	-	将来構想では、取組方針に「多様な世代・主体の協働による様々な活動を通し、幕張新都心の地域文化をより豊かにする」、「まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす」(P36)としております。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
131	36	市民参加に関する こと	幕張新都心のそれぞれのエリアが成熟した結果、共通認識が薄れてきた。P36「市民参加の取組み」を是非とも実現させてほしい。そのためにプラットフォームスタイルも取り入れた、先進的多機能地域メディア「幕張プレス」の開設を提案する。デジタル技術を活用し、防災無線機能や回覧板機能から、イベント・観光・買い物情報や企業情報、住宅情報、病院などの生活情報までを集約する。多様になった幕張らしさに統一感をもたせることも重要である。	-	住民・企業などまちのあらゆる活動者が情報を共有し、協働によるまちづくりを進めていくことは重要であり、将来構想では、取組方針に「デジタル技術のサポートも活用しながら、地域で議論し地域で意思決定できるまちづくりを進める」(P36)としております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
132	36	市民参加に関する こと	アニメランド（観光施設）の誘致を提案する。アニメは世界的に人気であるため、海外からも来てもらえる。例えば、常設展示、企画展示など半年か1年位で変更する。これで、デイズニーランドやUSJに対抗できるか？なんせ「国産」ですから。	-	将来構想では、取組方針に「まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす」(P36)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
133	36	市民参加に関する こと	オフィスビルは年月を経ているものの美しい外観であり、内部、外壁ともきれいに維持されていると思う。各ビルの並びや区割りもとてもきれいだと思う。それにもかかわらず、通勤時の高揚感に欠け、都落ち感が強まるのは、オフィス街の沿道や植え込みの雑草、歩道橋や保護柵の錆染みや黒ずんだ汚れ、歩道タイル・石畳の浮きや黒ずみなどが影響しているからと感じる。さらに、汚い自転車の駐輪や海浜幕張駅の安っぽさや汚れも、それらに追い打ちをかける。千葉県が誇るビジネス街、丸の内並みとはいかなくとも、西新宿並みの手入れできないものか。	-	将来構想では、取組方針に「多様な世代・主体の協働による様々な活動を通し、幕張新都心の地域文化をより豊かにする」(P36)及び「関係団体等の活動が連携・拡大し、一体となってまちづくりを進めることができる仕組み・運営体制をつくる」(P37)などとしております。関係者との連携・協働により街並みやまちの価値の維持・向上を目指してまいります。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

134	36	市民参加に関すること	すでに開発が完了した住宅街の発展や進化には、幕張新都心なら取り得る形があると思う。高齢化による衰退や空き家の発生を回避することが最優先事項であり、適度な住民の入替わりも必要と考える。そのためには、人気の住宅街であることを維持する必要がある。ベイトウンの差別的価値は、景観にある。各街区が、日常の保守や大規模修繕で外観の美しさを忠実に維持している一方で、街路の整備状況は街の美しさを大きく損なっている。石畳に対する無料なアスファルトでの補修や、沿道の並木や植栽の整備状況は、いかがなものか。建物と街路の調和に配慮した整備をお願いしたい。	-	将来構想では、取組方針に「多様な世代・主体の協働による様々な活動を通し、幕張新都心の地域文化をより豊かにする」(P36) などとしており、取組イメージとして「これまで築き上げてきた幕張新都心の街並みの維持・向上」などを、例示しております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
135	36	市民参加に関すること	現在の幕張新都心には色々なコンテンツがあるものの、他にはない魅力的なものが少ない。今回、水族館誘致の案件はそういった点において、住民も気軽に来訪できる施設になることを期待している。	-	将来構想では、取組方針に「まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす」(P36) などとしており、取組イメージとして「集客施設の誘致や魅力向上による地域資源の充実」などを、例示しております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
136	36	市民参加に関すること	神田外語大学生や、高校生、住民がまちづくりにかかわれるような仕組みづくりをしてほしい。	-	将来構想では、これからの幕張新都心らしさをより高める「連携」に関するまちづくりの方向性の一つとして「住民・企業など多様な関係者が手を取り、幕張新都心の文化を培い、誇りを醸成する」(P36) を掲げております。市民や学生など、多様な主体による連携・協働によるまちづくりを進めてまいりますので、いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
137	36	市民参加に関すること	イベントや野球がなくても人が施設を作るべき(水族館など)	○	集客施設の存在は、幕張新都心に来訪を促すうえで重要であることから、いただいたご意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。 【修正】(P36) 取組方針：まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす 取組イメージ：集客施設の誘致や魅力向上による地域資源の充実
138	36	市民参加に関すること	芸術・音楽等のストリートパフォーマンスの場の創造。これからSNSによるライブ発信、メディアへのプロモーションの構築。メッセの整備増強により、国際的に認知度の高い企画(アニメ・メタバースの運用等)。	-	将来構想では、まちづくりの方向性として「住民・企業など多様な関係者が手を取り、幕張新都心の文化を培い、誇りを醸成する」(P36) を掲げております。また、取組方針に「まちの集客力・発信力を高め、広域的な来訪を促し、交流人口を増やす」(P36) とするとともに、取組イメージとして「公共空間・各種施設などを活用し、音楽・アートなどの文化活動を地域で展開すること」などを、例示しております。 また、取組方針に「デジタル技術も活用するなど、幕張新都心でしか見られない新たな文化、エンターテインメントの創出・発展を進める」(P34) などとしております。 今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
139	37	基盤・持続可能性に関すること	新駅の開業も間近であるJR京葉線の利便性を高めることで、多くの人が集まりやすく、住みやすいまちになるのではないかとと思う。東京臨海高速鉄道を経由した羽田空港へのアクセスについては、既に構想があるようだが、羽田空港と幕張新都心、そして幕張新都心と成田空港を一直線に結ぶ路線が考えられる。	-	将来構想では、取組方針に「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」(P37) としております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

140	37	基盤・持続可能性に関すること	幕張メッセは、コロナパンデミックで厳しい営業環境にあるが、宿泊・飲食など波及効果を考えると、幕張メッセ1社だけの問題でなく幕張新都心全体の問題として考えるべきである。コンベンション施設は重要な都市インフラであり、都市の経営戦略として利用される。幕張新都心が県から市へ移管されたのでメッセの運営も千葉市に移管すべきである。	-	幕張メッセは、幕張新都心における中核施設であり、まちづくりに大きく影響を与える施設と認識しております。今後も株式会社幕張メッセや千葉県などの関係者の皆様と、より一層連携してまいります。
141	37	基盤・持続可能性に関すること	交通アクセスの抜本的な改善が不可欠である。成田・羽田両空港から幕張新都心を、新たな高速道路やフェリーで結ぶ「羽成シーランドハイウェイ」の整備と、シンボルとなる多機能ターミナルの整備を提案する。東京都心の交通混雑を緩和すると共に、災害時には羽田空港のライフラインとしても活用する。また、JR海浜幕張駅と将来は第二湾岸道路と接続して京葉地帯の交通要所とする。アクセス向上は、国際企業や団体などの誘致の原動力となり、コンベンション関連企業の誘致も有利に展開できるであろう。	-	アクセス向上について、将来構想では、取組方針に「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」(P37)としております。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
142	37	基盤・持続可能性に関すること	内房・外房方面など県内観光の足場として幕張新都心の果たす役割は大きい。幕張新都心の整備計画と併せ県と一緒に地域全体の交通アクセスの拡充を図って欲しい。	-	
143	37	基盤・持続可能性に関すること	幕張新都心の開発案です。千葉県精神科医療センターを利用している。救急病院と合併されるそうだが、病院を充実させた幕張新都心にして欲しいと思う。ヘリコプターの発着で事故が起きないかは心配である。	-	将来構想では、取組方針に「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」(P37)としております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
144	37	基盤・持続可能性に関すること	都市経営の仕組みとしてリスクマネジメントが必要である。各地の震災により、液状化など埋め立て地のハザードリスクが顕在化した。地盤調査や建築の専門家による総合的な検証が再び必要である。塩害やインフラ・メンテナンス問題も深刻化するであろう。多様化にあわせ警察等と協力して治安・防犯対策も見直していただきたい。	-	将来構想では、「現状分析：その他（社会基盤・インフラ・安全）」(P15)に基づき、安心して暮らせるまちをつくるため、取組方針に「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」(P37)を掲げております。いただいたご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。
145	37	基盤・持続可能性に関すること	「遊覧船ハーバー」を新設し、東京湾フェリーで久里浜と浜金谷と幕張をトライアングルで結び、海上交通で連携してはどうか。神奈川県から房総半島へ東京湾フェリーでゴルフ等レジャーで来る多くの人たちが、幕張に立ち寄ることであろう。	-	将来構想では、取組方針に「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」(P37)としており、いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
146	37	基盤・持続可能性に関すること	P37「誰もが幕張新都心で安心して暮らせるまちをつくる」ために、ベイトウンで認知症カフェを運営している。多くの人に利用してもらいたいが、個人での情報収集や周知は困難であると感じている。Web形式、無料で閲覧できる様式で「職・住・学・遊」それぞれのコンテンツをまとめた街案内の作成を市で取りまとめてほしい。	-	将来構想では、取組方針に「誰もが担い手として地域でつながり、新たな担い手を呼び起こす好循環を生み出す」(P36)などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

147	37	基盤・持続可能性に関すること	<p>エリアマネジメント団体は、エリア毎に組成、全エリアを包括する一つの団体として組成、または、それらを組み合わせたものなのか、分からない。一方で、シナジーを生み出すためにはエリア毎の取組みを取りまとめるようなエリア横断的な団体が必要だと思う。当団体についてもう少し明確に記載するとともに、当団体がエリア横断的な団体でない場合は、エリア横断的な団体の組成についても検討すべき。</p>	○	<p>将来構想では、取組方針に「関係団体等の活動が連携・拡大し、一体となってまちづくりを進めることができる仕組み・運営体制をつくる」(P37) などとしております。いただいたご意見を踏まえ、取組イメージに以下のとおり③を追記しました。なお、エリアマネジメントの仕組みについては、幅広い関係者の皆様とともにあり方を検討していきます。</p> <p>【修正(追記)】(P37)</p> <p>③ エリアマネジメント団体をはじめとする関係団体の連携・連帯を促進し、幕張新都心全体の価値向上につなげる</p>
148	37	基盤・持続可能性に関すること	<p>P37・7-1「関係団体等の活動が連携・拡大し、一体となってまちづくりを進めることができる仕組み・運営体制をつくる」の趣旨に賛同する。そのうえで、設立したエリアマネジメント団体が主体的にP37のNo.2～5の施策を推進することを提案する。多様な関係者で構成されている幕張新都心の地域においては、7-1-①で組成されるエリアマネジメント団体がリーダーシップを取り、まちづくりに取り組むことが必要だと考える。</p>	○	<p>将来構想では、取組方針に「関係団体等の活動が連携・拡大し、一体となってまちづくりを進めることができる仕組み・運営体制をつくる」(P37) などとしております。いただいたご意見を踏まえ、取組イメージ②を以下のとおり、修正しました。</p> <p>【修正】(P37)</p> <p>② エリアマネジメント団体がリーダーシップを発揮し、積極的かつ幅広い活動を展開することによる新たな地域価値の創出</p>
149	37	基盤・持続可能性に関すること	<p>カーボンニュートラル(CN)の実現には温室効果ガス排出量の削減さえすれば良いという考え方では成功は望めない。CN実現に伴って様々な課題を同時に解決していくことが必要である。誰一人取り残さないSDGsの考え方を取り入れ、あらゆる視点から課題を認識し地域で連携して解決に取り組んでいくことが必要である。</p>	-	<p>将来構想では、まちづくりの方向性として「誰もが幕張新都心で安心して暮らせるまちをつくる」(P37)を掲げております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
150	37	基盤・持続可能性に関すること	<p>P37・7-2「世界・地球にも貢献できるゼロカーボンシティの実現に向けて取り組む」については、明確な目標設定をすべきと考える。千葉市としての2030年の二酸化炭素排出量の削減目標は、今後、策定予定の「千葉市地球温暖化対策実行計画」において示されると思うが、P20「後追いではなく、グローバルに先導する地域になってほしい」という幕張新都心への想い・声や、P25の幕張新都心が目指すべき姿・重要となる1つ目の要素「新規性・先端性」により、具体的な数値目標を示し、目指すべき姿に取り組むことが必要であると考えます。</p> <p>【目標】 幕張新都心におけるゼロカーボンシティを目指し、2030年の二酸化炭素排出量を2013年比で46%削減する。</p>	○	<p>ゼロカーボンシティの分野でも幕張新都心は、本市を牽引するエリアであると認識しています。</p> <p>将来構想では、まちづくりの方向性を示すものであり、個別の数値目標を示すものではありませんが、取組みの考え方に関していただいたご意見を踏まえ、取組方針を以下のとおり、修正しました。</p> <p>【修正】(P37)</p> <p>世界・地球にも貢献できるゼロカーボンシティの実現に向けて先導的な役割を果たす</p>
151	37	基盤・持続可能性に関すること	<p>P37・7-3「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」について、変更を提案する。理由は、維持管理・老朽化対策や体制の整備など個別の対応だけでなく、まちづくりの観点から、幕張新都心全体の整備や体制を検討することが必要だと考えており、地域の特性に応じて補完し、支え合うといった趣旨のもとまちづくりを進める必要があると考えるためである。</p> <p>【修正案】 安全・安心なまちづくりの観点からの幕張新都心全体の設備や体制づくり</p>	-	<p>将来構想では、取組方針に「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」(P37)としており、地域の特性に応じて補完し、支え合うといった趣旨を含んでいることから、原文のままさせていただきます。</p>

152	37	基盤・持続可能性に関すること	P37・7-3「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」について、追記を提案する。理由は、令和元年の台風被害で空調電源が途絶えたことにより、老人福祉施設において熱中症が原因で高齢者が亡くなった事例があるため。また、千葉県国土強靱化地域計画においても自立・分散型エネルギーの導入が推奨されているため。 【追記案】 ⑤ 災害時にも必要最低限のエネルギーを確保できるように、自立・分散型エネルギーの普及を図る。	-	「取組イメージ」は一例を示しているものであるため、今後、関係者の皆様とともに、取組方針に基づき、取組みを検討していくこととなります。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。
153	37	基盤・持続可能性に関すること	コンクリートは夏は暑いいため、緑を増やしてほしい。アーバンパーマカルチャーを取り入れてはどうか。	-	将来構想では、取組方針に「幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間へ高める」（P34）などとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
154	37	基盤・持続可能性に関すること	私たちの日常生活は、図書館と切っても切れない関係にある。図書館と、必要最低限な医療施設の充実、この2本の柱をもって、ようやく私たちの生活は安定したものになるのではないか。	-	医療施設については、将来構想では、まちづくりの方向性として「誰もが幕張新都心で安心して暮らせるまちをつくる」（P37）を掲げております。いただきました図書館に関するご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
155	37	基盤・持続可能性に関すること	幕張新都心化を他地域（幕張本郷等）まで広げる。近隣自治体（船橋・習志野市等）との連携強化。	-	将来構想では、幕張新都心地区の他地域（幕張本郷等）への拡張を想定していませんが、幕張新都心への多くの来訪者や通勤者等が幕張本郷駅を利用するなど、周辺地域とは高い関係性を有しているものと認識しております。 また、幕張新都心地区の一部を有する習志野市をはじめ、近隣自治体との連携強化は重要であると考えています。 そのため、将来構想では、取組方針に「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」（P37）などとしております。 いただいたご意見を参考に、周辺地域や近隣自治体との連携強化に取り組んでまいります。
156	37	基盤・持続可能性に関すること	防災・減災機能の強化。高潮・液状化リスクへの対応。セキュリティ対策（現実化しているコロナ等の防疫、テロ脅威への対策）。通信インフラの整備 最新技術の導入。	-	将来構想では、取組方針に「多様な関係者の連携による安全・安心な基盤づくり」や「デジタル技術を活用した高度なインフラの維持・管理と、テクノロジーの進展を見据えた都市基盤づくり」（P37）などとしております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
157	37	基盤・持続可能性に関すること	空港や新幹線へのアクセスを良くし、国内外へのアクセスの利便性を図る。	-	将来構想では、取組方針に「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」（P37）などとしており、取組イメージとして「新たな湾岸道路や鉄道等によるアクセス性の向上」などを、検討するべき内容として例示しております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。



158	37	基盤・持続可能性に関すること	ゼロエミッションシティの実現。	-	将来構想では、取組方針に「世界・地球にも貢献できるゼロカーボンシティの実現に向けて先導的な役割を果たす」(P37) などとしております。 持続可能で誰もが安心して暮らせるまちづくりに向け、今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
159	31~38	7章全般	「7つのまちづくりの方向性」のナンバリングが、38ページの3-1-①など数字が連続で続くため初見では分かりにくく感じる。最初の7項目はA~Gなど見せ方を変えた方がよい。	○	将来構想では、7つのまちづくりの方向性があることを強調したいため、算用数字を用いています。分かりやすくするために、P38における表記を変更するとともに、凡例を記載しました。
160	38	エリア別の取組イメージ	各エリアに各取組みを重ねて表示するイメージ図は、分かりやすく非常によい手法である。ただし、幕張新都心のありたい姿である3要素及びまちづくりの理念はイメージできない。例えば、人間尊重・市民生活優先という理念の基に、リモート時代をテーマにすると各エリア及びその連携において様々な取組みが生まれてくる。	-	「エリア別の取組イメージ」(P38) は、P31~P37に記載されている取組イメージの一部を、エリア別に整理したものであり、幕張新都心のありたい姿である3要素及びまちづくりの理念については、全ての取組イメージにかかる普遍的なものであるため、個別には記載をしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
161	38	エリア別の取組イメージ	「公共空間」という言葉が散見される(5-1-①、5-2-①)。公共空間の利活用は、地上域が十分に利用され、オーバーフローしている時に考えられた領域だと理解している。残念ながら、現在も、20~30年後も地上空間は未利用に終わる。まずは地上領域の有効利用を考えてほしい。JR海浜幕張駅から幕張メッセ・ZOZOマリンスタジアム間に設置されている歩道施設(スカイウェイ)は、両施設にだけ向かう人にとっては非常に便利であるが、目的地の中間に位置する商業施設等はスルーされている。	-	将来構想における「公共空間」とは、浜辺・海辺、道路、公園など、一般に開放されている公共性の高い空間を意図しており、上空のスカイウェイの空間スペースも含まれるものの、主には道路や公園などの公有地の地上空間の利活用を想定しています。 将来構想では、まちづくりの方向性として「既存資源を柔軟に活かし、つなげることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する」(P35) を掲げており、公共空間の柔軟な活用等を促進することとしております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
162	38	エリア別の取組イメージ	【業務研究・タウンセンター】と【幕張ベイパーク】にリモートワーク時代に対応した○○が記載されている。この考え方を他の地区等にも拡大させてほしい。現在は、フェイス・ツー・フェイスが基本となっているが、近い将来、変化すると思う。職(製造現場除く)・住・学・遊には適用できると思う。商業・医療には既に適用されている領域もあります。「人間尊重・市民生活優先」の理念の基での「リモートワーク」が、幕張新都心のキーワードとすることを希望する。	-	将来構想では、取組方針に「デジタル技術を活用した高度なインフラの維持・管理と、テクノロジーの進展を見据えた都市基盤づくり」(P37) などとしております。職の領域に限らず、新技術に対応した都市基盤により、安心して暮らせるまちをつくることを掲げております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
163	38	エリア別の取組イメージ	P38では「職・住・学・遊」の取組がエリア毎に区切られているため、エリア毎にしか取組みを実施しないようにも感じられる。エリア全体に係る取組みは、エリアマネジメント団体の組成のみである。現状では、「職・住・学・遊」の取組をどのように融合しつなげていくのか読み取れない。個別の取組みの積み上げにより全体を作り上げるという意図かもしれないが、大きなトップダウンな方向性を明確に示すような内容を、目指すべき姿としてまずは頭に記載すべきではないか。エリア別の取組を、エリアの境を超えてクロスオーバーさせる仕掛けもまた盛り込むべきではないか。	-	P38はエリア別の取組イメージの記載となり、エリアを越えた「連携」による取組みについては、P35~P37に記載しております。将来構想では、これまでの幕張新都心らしさを構成してきた「職・住・学・遊」に関する4つのまちづくりの方向性を、「連携」に関する3つのまちづくりの方向性が下支えすることで、相乗効果を生み、幕張新都心のありたい姿の実現を目指すこととしています。

164	38	エリア別の取組イメージ	「幕張の浜」と「幕張海浜公園」が別のエリアになっているが、「幕張海浜公園・浜」と一体的にとらえることはできないか。また、ZOZOマリンスタジアム（野球）とJFA フィールド（サッカー）の施設があるのに、両者の良さを活かさきれていない。	-	「エリア別の取組イメージ」（P38）は、よりイメージを持てるよう、施策体系だけではなく、エリア別に例示しております。 将来構想では、まちづくりの方向性として「既存資源を柔軟に活かし、つなげることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する」（P35）を掲げており、多様な主体のもとで、浜辺・海辺エリアに限らず、街全体での各エリアの融合を促進してまいります。 また、取組方針に「スポーツ資源を、より地域に対して開かれたものとし、魅力を向上させる」（P34）などとしております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
165	42	策定経過	構成員に、海浜幕張のビジネスインフラを支える主役であるJR東日本、京成グループ、三井不動産が入っていないことに疑問を感じる。利害関係者であっても交えるべきと考える。また、学からの代表として中等教育機関では荷が重いように感じる。	-	懇話会構成員は、幕張新都心の特徴である「職・住・学・遊」の分野の中から、それぞれのエリアの創成期から立地している企業・団体等を中心にご参加いただき、多角的なご意見をいただくことができました。 なお、懇話会以外にも関係者ヒアリングや関係団体意見照会等を通じて、企業・団体等をはじめとする様々な関係者の意見を取り入れながら将来構想を策定しました。
166	42	策定経過	MICEを支える機能の一翼であるホテルの関係者は「懇話会」の構成員とはなっていない。幕張メッセでの催物の開催により、ホテル群はどの程度のメリットを受けているのか、過去との比較も行っているか？既にホテル群は幕張メッセの催物にはあまり期待しておらず、むしろ東京ディズニーリゾート利用の宿泊施設として機能することを、経営方針の中核に据えているのではないか？ホテル関係のデータや意識調査を行う必要があると考える。	-	将来構想の策定にあたっては、ホテル関係者へのヒアリングや団体意見照会を実施してきております。 また、幕張新都心だけでなく、県内や首都圏湾岸地域における連携も重要であり、将来構想では、取組方針に「県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤を構築する」（P37）などとしております。 今後とも、ホテル関係者の皆様とも連携を図りながら、まちづくりに取り組んでまいります。
167	-	全体	街の衰退を食い止めるのは最終的には人の熱意と考える。幕張は人材の宝庫であり、幅広く優秀な人材を現地調達できるメリットがある。仕組みや仕掛けを作ったことで終わらず、新しいヒト・コト・モノの交流を目指してほしい。この素晴らしい構想に近づくために、閉鎖的にならず、さまざまな分野の専門家を広い視野で探してほしい。	-	ご意見のとおり、幕張新都心では、多様な関係者が活躍しております。 幕張新都心の持続的発展に向け、まちで活躍する多様な関係者と将来構想を共有し、連携・協働の好循環により、まちづくりを進めてまいります。
168	-	全体	新しい「職・住・学・遊」の機能が有機的に連携し合い、新しい医療体制も完備し、リーズナブルな完全看護・介護の老人施設や、安心・安全で楽しく子育てができる保育施設を充実させてほしい。子々孫々までここで住み続けたいと思うような街づくりと、日本のみならず世界中から色々な人々が集い「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」が好循環する、世界をリードする街づくりを目指してもらいたい。	-	幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の業務都市であり、この先もこれらの機能をより高めることなどにより、次世代までも住み続けたいまち、訪れたいまち、働きたいまちとなるよう、幕張新都心のありたい姿の実現に向けて取り組んでまいります。
169	-	全体	都市経営には、経済力が重要。これを一つの要の中に考えないと都市は劣化していく。常に新たな展開をしていくアメーバ式の成長が必要であるとともに、それを支える経済力とのバランスがとても重要。	-	幕張新都心の持続的な発展に向け、地域経済の活性化やこれを支える経済力が重要であることを認識しております。今後の取組みを検討する際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
170	-	全体	科学的にデータを分析したうえで課題を明確に示すことが重要と考える。それが行われないうままの「将来構想」では、「具体的な課題への対応」に進むことは無理ではないか。単なる言葉遊び、イメージに留まるような記述は絶対に避け、20年～30年後の未来につけまわすようなことにならないでほしい。	-	将来構想では、幕張新都心の歩みや現状分析、考慮すべき将来変化などを踏まえ、まちづくりの方向性を掲げております。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。